令和８年度　我が校の学ぶ力向上策

【県目標】第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン
夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学ぶ力を高める。

【令和８年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ
〇発達の段階を踏まえた言語活動の充実
〇１人１台端末等の効果的な活用
〇自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

【市町の目標】
〇IKOKA学習デザインを基盤とした、主体的・対話的な深い学びの実現を目指し、学ぶ楽しさを実感し、確かな学力を育む教育の充実
・「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
・「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」のツールとしての効果的なＩＣＴ活用の促進を図る。
・ いじめを許さず、支え合い学び合う集団を育てる学級、学校づくりの充実を図る。

【学校の目標】
〇たくましい知性としなやかな感性を育む
A)正解がない問題に挑戦し、自分なりに答えを出す
B) 多様性を受け入れ、互いを尊重し合う
C)みなくちに誇りをもち、郷土を愛する

【現状と課題】
〇視点１
（１）学びに向かう姿勢は全体的に高まっている。どの教科においても、学んだことを基に自分の考えを深め、記述したり表現したりする指導を充実させることが必要。
（２）ＩＣＴ機器の使用率は高い。問題解決的な学習や探究活動におけるＩＣＴの利用など、授業において情報および情報手段を適切かつ効果的に活用した授業実践を図ることが必要。
〇視点２　子どもたちが自主的、実践的に取り組む特別活動を目指している。学級活動や児童会活動において、課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践し、振り返る活動を充実させることが必要。
〇視点３　全職員が、学校教育目標や自校の課題について共通理解するとともに、主体的に課題解決に向けて取り組むことが必要。

取組事項および評価指標
※評価指標には、目標値を記入してください。
（例）県学びのアンケート（児童生徒）「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに，自分で学び方を考え，自分から取り組んでいたと思いますか」**肯定的な回答80%以上** ← **目標値**

【視点１】子どもたちが主体の授業づくり	
取組事項	評価指標
①自己の学びを調整しながら主体的に取り組む力の育成 学んだことを基に自分の考えを深め、記述したり表現したりする指導を充実させる	①「学校の友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか」の項目の肯定的な回答80%以上に。
②ICT機器を効果的に活用した授業実践 問題解決的な学習や探究活動におけるＩＣＴの利用など、授業において情報及び情報手段を適切かつ効果的に活用した授業実践を図る。	②「ICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」の項目の肯定的な回答80%以上に。

【視点２】学びを支え合う集団づくり	
取組事項	評価指標
子どもたちが自主的、実践的に取り組む取り組む特別活動を充実させる。課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践し、振り返る活動を行う。	「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法をきめていますか」の項目の肯定的な回答80%以上に。

【視点３】協働して取り組む学校づくり	
取組事項	評価指標
①全教職員で全校児童を育てるための組織・枠組みづくりの充実を図る。	①「学級の状況や課題を教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいる」の項目の肯定的な回答80%以上に。
②教員同士が学び合う機会として、校内研修や授業研究の充実を図る	②「授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか」の項目の肯定的な回答80%以上に。

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

・職員会議等において、「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。
・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、「知性を磨く部会」「こころを耕す部会」「健やかな心身を育む部会」が中心となって、組織的な実践につなげる。
・前期の取組状況を共有し、学校評価や、全国学力・学習調査等の調査における数値や意見等をもとに、改善策についてまとめ、指導部会、校内研究推進員会などを中心に、後期の取組につなげる。